



大阪市 非公開文化財の特別公開事業

忿怒の男神像 ～荒神と金神～

2026年8月21日(金)～23日(日)午後1時～4時

於：中央区徳井町 山本能楽堂

資料代 100円

(大阪メトロ 谷町線・中央線 谷町4丁目駅から北西に徒歩5分)

大阪市 非公開文化財の特別公開

忿怒の男神像～荒神と金神～

主催：大阪市教育委員会・大阪密教美術保存会 共催：朝日新聞社

神さまの姿をあらわした彫刻や絵画のことを神像と呼びます。日本の神像は、仏教の影響を受けながら成立、展開したといわれますが、大阪市域は、神道と仏教が相互に影響を与えながら、複雑かつ多様に変化していくという、神仏習合の影響が色濃くみられる土地柄です。そのような由緒をふまえてか、特色ゆたかな神像が、市域には伝来していることが、近年の文化財調査から、明らかになってきました。

今回、男性の姿で、忿怒の相を呈する荒神と金神に焦点をあてて、特別に一般に公開することとなりました。ミニ展示方式による公開です。会場として、格別のご配慮をいただきまして、昭和25年(1950)に再建された歴史的建造物で、国登録文化財となっている、山本能楽堂の能舞台をお借りします。文化財の彫像を能舞台上で公開するという試みになります。

大阪密教美術保存会 会長 玉島 興雅

日時：2026年8月21日(金)～

8月23日(日)

午後1時～4時(入場3時半まで)

※21日(金)・22日(土)は

午後6時～8時(入場7時半まで)

も公開します。

場所：中央区徳井町1-3-6

山本能楽堂

大阪メトロ 谷町線・中央線

谷町4丁目駅から北西へ徒歩5分

谷町筋を北へ、最初の交差点を西

資料代：100円(学生無料)

※申し込みは不要です。



※表写真：木造三宝荒神立像(三津寺所蔵)

能の公演などの、特別な演出はありません。

大阪市文化財保護課学芸員の解説あり。

会場には段差があります。

問い合わせ先：大阪市教育委員会文化財保護課

電話：06-6208-9168